

令和5年度 第2回 熱海伊東地域医療構想調整会議 要約議事録

- 1 開催日時 令和5年11月8日(水) 19:40～20:15
- 2 開催場所 静岡県熱海総合庁舎1階熱海保健所相談室(Web開催)
- 3 出席委員

三枝 壮一郎(熱海市健康福祉部長)
松下 義己(伊東市健康福祉部長)
渡辺 英二(熱海市医師会長)
服部 真紀(熱海市医師会副会長)
山本 佳洋(伊東市医師会長)
立山 康夫(熱海市歯科医師会長)
稲葉 雄司(伊東市歯科医師会長)
前田 修(伊東熱海薬剤師会副会長)
秋本 佳秀(伊東熱海薬剤師会理事)
池田 佳史(国際医療福祉大学熱海病院長)
川合 耕治(伊東市民病院管理者)
金井 洋(熱海所記念病院長)
大久保 光(熱海ちとせ病院長)
鈴木 和浩(熱海 海の見える病院長)
稲村 啓子(静岡県看護協会熱海伊東支部副支部長)
荻野 耕介(熱海市介護サービス提供事業者連絡協議会長)
森 典世(伊東市介護保険事業者連絡協議会副会長)
大隅 敏生(全国健康保険協会静岡支部レセプトグループ長)
伊藤 正仁(静岡県熱海保健所長)

(欠席委員)

植田 修逸(南あたま第一病院長)

(オブザーバー)

毛利 博(静岡県病院協会会長)
竹内 浩視(浜松医科大学特任教授)
小林 利彦(地域医療構想アドバイザー)

◇高橋次長（熱海保健所）

ただいまから、令和5年度第2回熱海伊東地域医療構想調整会議を開催します。本日の会議については公開とさせていただきます、会議録を作成した上で公開することとしておりますのでご了承願います。

早速でございますが、議事の方を進めさせていただきたいと思っております。議事の進行につきましては、熱海伊東地域医療構想調整会議設置要綱第6条に基づきまして、熱海市医師会の渡辺会長にお願いをいたしたいと思っております。渡辺会長お願いいたします。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）

皆様、お疲れ様です。熱海市医師会長の渡辺です。それでは、本日の議事に入っていきたいと思っております。円滑な議事進行につきまして、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

本日は議題が1つと報告事項が2つあります。まず、議題1の、「地域医療構想の推進に関する医療機関の具体的対応方針の見直し」について、今回は、国際医療福祉大学熱海病院、熱海ちとせ病院の2病院から説明願います。時間の関係もありますので、各病院5分程度でお願いします。

初めに、国際医療福祉大学の池田委員から説明願います。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院）

資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海市医師会長）

次に、熱海ちとせ病院の大久保委員、説明をお願いします。

◇大久保委員（熱海ちとせ病院）

資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海市医師会長）

ただいま、池田委員、大久保委員から説明がありました件につきまして、委員の皆様から御意見、御質問等がありましたら、お願いします。

◇伊藤委員（熱海保健所長）

国際医療福祉大学熱海病院の2025年以降の病床ですが、31床から95床に増床し、そのうち40床が地域包括病床にする計画がありますが、医療従事者の確保等大変ではないかと思っておりますが、その辺はいかがでしょうか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）

64床を本当に増床させるのか、どこの段階で返還するのかというのが、現状一番の問題で、64床を増床するのは看護師の数的にも絶対無理で、一般病床ではなく、他の病床を増やす形で記載しています。今後、本部との交渉にもなりますが、増床するか、返還するかが本当の課題になっています。

◇伊藤委員（熱海保健所長）

もう1点、8ページの血液内科の新設ですが、本院から週1回先生が来ての外来を想定しているのか、専門の医師が移植まで行い、専門研修のプログラムまでを立ち上げる構想なのか、その辺を、現状分かる範囲で教えていただけますか。

◇池田委員（国際医療福祉大学熱海病院長）

当院の内科に専門の医師がいないのが一番の問題で、この地域では小田原の病院や順天堂大学静岡病院に行くかみたいなことになってしまうので、これも本部との交渉になりますが、まずは非常勤から始めて、出来れば常勤で1名確保したいと考えています。

ただ、現実としてできるかどうかというと、今、卒業生が出たばかりで、6、7年先の話になってしまうかなと考えています。非常勤の医師ならば、現状でも可能な場合があるのではないかと感じています。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）

ほかに意見はございませんでしょうか。それでは、国際医療福祉大学熱海病院も熱海ちとせ病院も、熱海伊東圏域の医療需要に対応した病院として、今後役割を果たしていただきたいと思います。

次に、報告事項1,2について事務局から一括して説明願います

◇山本主任（熱海保健所）

資料に基づき説明

◇渡辺議長（熱海市医師会長）

ただいまの事務局からの説明について、御意見、御質問等がありましたら、お願いします。

無いようでしたら、本日参加していただいているアドバイザーの先生方から全体を通して御意見をいただけますか。

◇竹内アドバイザー（浜松医科大学特任教授）

熱海、伊東圏域、それぞれ小さいながらも厳しい病院が多いと伺っていますが、今回、病院のプランを提示していただきましたが、かなり具体的に記載されていてよく分かりました。やはり、医療従事者の確保というのは、医師に限らず、看護師とかは今回非常に困難であるということ、国際医療福祉大学の熱海病院の池田委員からもお話しがありました。これは当病院に限らない話だと思いますので、圏域の方で検討を進めていただければと思います。

◇小林アドバイザー（地域医療構想アドバイザー）

先日のセミナーでお話したんですけど、県内全体もそうなんですけど、やはり急性期からどちらかというと慢性期寄りに医療が代わっていく中で、医療従事者、特に看護師、薬剤師もそうなんですけど、ある程度高齢者が働かないと間に合わないような状況があり、定年制っていうのを止めていくことを積極的に考えていかなければいけないかなと思っています。

当然、そこで給与をどうするか、いろんな問題が多分自治体病院や民間病院であると思いますが、無い物ねだりをしてても、いつまでも足りないものは足りないもので、高齢者をある程度、70歳ぐらいまで看護師も働いていただくと。

ただし急性期では働けないと思いますので、その後の一定のスライドっていうなことも含めて、やはり看護師の確保というのが地域医療を決めるんじゃないかなと、私今すごく思っているんで、そのあたりをある程度モデルケースとして、その地域単位で少し動いてるということが非常に現実的なことじゃないのかなあと思います。

◇渡辺議長（熱海市医師会長）

それでは、定年制を延ばすという意見について、看護協会の方からどうでしょうか。

◇稲村委員（静岡県看護協会熱海伊東支部副支部長）

この医療圏では看護師が不足しており、特に若い世代がないというのが現状ですので、やはり定年で切ってしまうっていうのは、ちょっと難しい、人材の確保の観点からなる難しいのかなと思います。

特に、今、多い世代が50代後半ぐらいの看護師で、そこが、あと5年から10年の間に消えてしまうと、働く看護師はかなり少ないんじゃないかなというふうに思います。

ご年配の看護師が活躍してもらえるようなシステムと、あとはこの圏域だけでなく違う圏域から若い世代を持ってこない、やはり、急性期から在宅なんか

でも急性的に夜日中も働いてとなると、若い世代が、いないとやはり回っていかないというのがありますので、違う圏域とか都市部から取り込めるような仕組みが県全体でも考えてもらって、そういうところに補助金を充ててもらおうと、もう少し補充され、看護師も潤ってくるかなと思います、

◇渡辺議長（熱海市医師会長）

ありがとうございました。

本日予定しておりました議題、報告事項は以上であります、その他、各委員から報告すべきことがありましたら、お願いします。

特にないようですので、これにて議事を終了とさせていただきます。

議事進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。マイクを事務局にお返しします。

◇高橋次長（熱海保健所）

渡辺議長様、どうもありがとうございました。

本日は、真摯な議論をしていただき、ありがとうございました。これにて「令和5年度第2回熱海伊東地域医療構想調整会議」を終了させていただきます。

なお、次回の会議は来年2月を目途に開催する予定ですので、よろしく願いいたします。